

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【公開番号】特開2013-51624(P2013-51624A)

【公開日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2011-189552(P2011-189552)

【国際特許分類】

H 04 R 1/10 (2006.01)

G 10 K 11/178 (2006.01)

【F I】

H 04 R 1/10 104Z

H 04 R 1/10 104E

G 10 K 11/16 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月11日(2014.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Lチャンネル音を放音するLチャンネル側ドライバユニットと、外部音を収音するLチャンネル側マイクロフォンと、上記Lチャンネル側マイクロフォンの収音信号に基づくノイズキャンセリング処理についての設定制御を行うLチャンネル側マイクロコンピュータとが少なくとも収納されたLチャンネル側ハウジング部と、

Rチャンネル音を放音するRチャンネル側ドライバユニットと、外部音を収音するRチャンネル側マイクロフォンと、上記Rチャンネル側マイクロフォンの収音信号に基づくノイズキャンセリング処理についての設定制御を行うRチャンネル側マイクロコンピュータとが少なくとも収納されたRチャンネル側ハウジング部と

を備え、

上記Lチャンネル側マイクロコンピュータと上記Rチャンネル側マイクロコンピュータとが互いにデータ通信可能となるように構成されている

音響再生装置。

【請求項2】

上記Lチャンネル側マイクロコンピュータ又は上記Rチャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスター・コンピュータとされ、

上記マスター・コンピュータは、

上記マイクロフォンによる収音信号に基づき、上記ノイズキャンセリング処理のモードとして何れのモードを設定すべきかを判定するNCモード判定処理を実行し、当該NCモード判定処理で判定されたNCモードを、同チャンネル側のNC処理部に設定すると共に、他方のチャンネル側のマイクロコンピュータに対して通知する

請求項1に記載の音響再生装置。

【請求項3】

上記マスター・コンピュータは、

同チャンネル側のNCモードの切り替えタイミングと他方のチャンネル側のNCモードの切り替えタイミングとが一致するように制御を行う

請求項 2 に記載の音響再生装置。

【請求項 4】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

他方のチャンネル側のマイクロコンピュータの異常を検知し、異常が検知されたことに応じた処理を実行する

請求項 1 乃至 請求項 3 の何れかに記載の音響再生装置。

【請求項 5】

上記マスターコンピュータは、

上記異常として、上記他方のチャンネル側のマイクロコンピュータからの応答が無いことを検知し、異常が検知された場合は、自らをオフ状態とする

請求項 4 に記載の音響再生装置。

【請求項 6】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータの動作電源となる電池が上記 L チャンネル側ハウジング部内に収納され、上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの動作電源となる電池が上記 R チャンネル側ハウジング部内に収納されている

請求項 1 乃至 請求項 5 の何れかに記載の音響再生装置。

【請求項 7】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

双方のチャンネルの電池残量が十分であるか否かを判別し、一方でも電池残量が十分でないとされる場合は、自チャンネル側と他チャンネル側の双方がオフ状態となるように制御を行う

請求項 6 に記載の音響再生装置。

【請求項 8】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

起動指示が行われた場合、他方のチャンネルのマイクロコンピュータに電池残量を通知させ、双方のチャンネルの電池残量が十分であるか否かを判別した結果に基づき、双方のチャンネルがオン状態となるように制御を行う

請求項 6 又は 請求項 7 に記載の音響再生装置。

【請求項 9】

電池残量についての表示を行う表示部をさらに備え、

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータのうち少なくとも一方が、L チャンネル側又は R チャンネル側のうち少ない方の電池残量が上記表示部に表示されるように制御を行う

請求項 6 乃至 請求項 8 の何れかに記載の音響再生装置。

【請求項 10】

上記電池残量についての表示制御を起動時に実行する請求項 9 に記載の音響再生装置。